

令和5年 第1回 監査委員会 議事録

開催日時	令和5年1月7日（火）午後6時30分～午後8時10分		
場所	杏林大学医学部附属病院会議室B（第2病棟2階）		
出席者	委員長	宇井 義典	（医療法人社団佳仁会 三鷹第一クリニック院長、 三鷹市医師会監事・前会長）
	委員	渡邊 卓	（学校法人杏林学園理事、杏林大学長）
		近藤 さやか	（三鷹市健康福祉部 保健医療担当部長）
		橋本 雄太郎	（杏林大学総合政策学部元教授）
		山口 育子	（認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長）
	オブザーバー	近藤 晴彦	（杏林大学医学部附属病院病院長）
		平野 照之	（杏林大学医学部附属病院副院長、医療安全管理部長、医療安全管理責任者）
		吉田 正	（杏林大学医学部附属病院薬剤部長、医薬品安全管理責任者）
		森山 潔	（杏林大学医学部附属病院医療機器安全管理責任者）
		大荷 満生	（杏林大学医学部附属病院医療安全推進室長）
		高橋 雅人	（杏林大学医学部附属病院医療安全推進副室長）
		北原 るり子	（杏林大学医学部附属病院専任リスクマネージャー）
		内田 貴之	（杏林大学医学部附属病院専任リスクマネージャー）
		古島 瑠美	（杏林大学医学部附属病院専任リスクマネージャー）
		中山 英明	（杏林大学医学部附属病院医療安全推進室専従薬剤師）
		中野 貴仁	（杏林大学医学部附属病院医療安全管理部課長）
		高野 智博	（杏林大学医学部附属病院医療安全管理部課長補佐）
		鈴木 晃子	（杏林大学医学部附属病院医療安全管理部課長補佐）
		鈴木 隆仁	（杏林大学医学部附属病院医療安全管理部事務員）
	事務局	駒形 周一郎	（杏林学園総務課課長）
		藤本 美佐緒	（杏林学園総務課課長）
		中野 かおる	（杏林学園総務課長補佐）

議 題 医療安全管理体制について、医療安全の新たな取り組み

監査項目 タイムアウトの実施に係る取り組み、インフォームド・コンセントへの取り組み、術前休薬に対する取り組み、毒薬筋弛緩剤の管理への取り組み、鎮静管理への取り組み、患者参加型医療への取り組み

監査結果・委員からの講評

1. 立入検査において医療安全に関する取り組みには概ね良好であるということから大変評価できる。資料は、指摘事項の改善例等を抜粋して提示をいただきたい。
2. 医療安全の取り組みの報告、患者や家族へインシデントやアクシデント発生時にどのように対応したか困難事例を含め提示いただきたい。
3. タイムアウトの実施項目は、時系列的に実施順序にそった項目立てを検討していただきたい。
4. 患者等に対するインフォームド・コンセントの理解度の確認方法について、具体的な内容に変更したことは評価できる。記録は客観的な内容が重要であり、紙媒体の他、電子媒体の記録も一つの選択肢である。
5. 手術・検査前の休薬説明用紙の運用及び、筋弛緩剤の管理への取り組みは、よい取り組みであり今後も継続して実施してほしい。
6. 鎮静剤の管理に関する講習会の開催は、よい取り組みであり継続的に実施するよう検討いただきたい。
7. 患者に配布している冊子は、前回の委員会にて確認した時よりも見やすくなった。次回の改訂時には、校正可能な段階で見せていただきたい。

以上